

令和3年度 第1回事業承継ガイドライン改訂検討会 議事要旨

日時：令和3年9月1日（水）10時00分～12時00分

場所：PwCコンサルティング合同会社 会議室 WADAKURA MON 及び WEBEX 会議室

出席者：

山本座長、池田委員、伊藤委員、加藤委員、鴨田委員、河原委員、篠田委員、清水委員、高井委員、内藤委員、中沢委員、中山委員、葦澤委員、菱沼委員、廣田委員、松中委員、三宅委員、安原委員、山野委員

議事概要

- ・ 事務局から事業承継ガイドライン改訂における論点及び中小 PMI ガイドライン(仮称)の検討方針について説明を行った後、討議を行った。
- ・ 事業承継ガイドライン改訂案に関する論点は、次のとおり。(1) 中小企業の事業承継の現状や課題、(2) 円滑な事業承継の推進に向けた支援策、(3) 事業承継に関する実務慣行の変化や外部環境動向による影響等。
- ・ 最後に、中小 PMI ガイドライン(仮称)策定小委員会の設置について決議を行い、委員の了承を得た。

1. 中小企業の事業承継の現状や課題について

- ・ 事業承継の実施状況を何らかのデータを活用して把握できないものか。
- ・ 事業承継を行う事業者の属性別や支援機関の属性別の統計など、事業者が興味を持ちやすい統計を充実させてはどうか。
- ・ 事業承継を早めに行うことでどれだけの便益があるのかについて直接的なデータを示せないものか。少なくとも事例ベースで示せないものか。
- ・ 事業承継を行うことになった契機等についてデータを示せないものか。
- ・ 後継者の年齢を考慮して事業承継を検討すべきという点を記載してはどうか。
- ・ 統計だけではなく、事業承継経験者や後継者の生声や事例も記載してはどうか。
- ・ 事例に関しては、成功例だけでなく、失敗例も記載してはどうか。
- ・ 小規模事業者も事業承継が重要であることを記載してはどうか。創業希望者への経営資源引継ぎが小規模事業者の事業承継の後押しになるのではないか。
- ・ 小規模事業者については、その他の中小企業と扱いを変えてもいいのではないか。
- ・ 近年重要性が増している従業員承継に関する記載を充実させてはどうか。
- ・ 従業員が承継する場合のモデルがあまりないので、典型的なモデルを提示できないものか。
- ・ 従業員承継には、後継者が年少であるためのつなぎでの承継と、従業員に譲渡するものの二種類がある。後者については、気持ちの問題や金銭面での問題等がある。

- ポスト事業承継や第二創業についての記載を充実させてはどうか。
- 後継者教育の具体的手法や事例についての記載を充実させてはどうか。
- 中小企業大学校などの後継者教育の取組を紹介したり、後継者教育にかかる期間を如何に短くするかというソリューションを提供したりできないものか。
- 現経営者だけではなく、後継者目線でのデータを記載し、後継者に関する現状や課題についても言及してはどうか。
- 企業の成長ステージに応じて、事業承継のステップや課題等、内容は変わると考えられる。創業者から2代目への引き継ぎだけではなく、それ以降にも当てはまる内容も記載してはどうか。
- 「後継者不在」は、後継者候補がないという意味なのか、それとも後継者を検討中ということも含むのか。言葉の定義を明確にしてはどうか。
- 新型コロナウイルス感染症が事業承継に与える影響について、業種別で分析できないものか。

2. 円滑な事業承継の推進に向けた支援策について

- 施策の活用状況を把握することで活用されていない支援策を特定した上で、専門家の意見を聞くなどして障害と対応策の検討を行い、それを記載してはどうか。
- 事業承継・引継ぎ支援センターについて記載してはどうか。
- 事業承継に焦点を当てた「経営者保証に関するガイドライン」の特則（二重徴求原則禁止）や経営者保証コーディネーターについて記載してはどうか。
- 経営デザインシートやローカルベンチマークについての記載を充実させてはどうか。
- 名義株の取扱いについて、何らかの提示できることはないものか。
- 株価計算には、相続税評価額だけでなく、M&Aを行う際の株価というものもあることを記載してはどうか。
- アトツギ甲子園や後継者候補向けのネットワークなど、後継者向けの支援策についても記載してはどうか。
- 事業承継の支援には、様々な支援者の連携が望まれる。各地域でチームとなって支援の輪を広げるような啓蒙的な記載と事例紹介を記載してはどうか。
- 事業承継・引継ぎ補助金について、より申請しやすくするため、複数年の通年公募としてはどうか。

3. 事業承継に関する実務慣行の変化や外部環境動向による影響その他

- 経営者の高齢化やコロナによりエッセンシャルな事業が地方で廃れている中、地方創生の観点からの事業承継のあり方も記載してはどうか。
- ガイドラインの構成は定着しているので、大きな変更は適当でないのではないか。

- ガイドラインの改訂だけでなく、その概要版の作成も行うべきではないか。
- 事業承継に関する支援策を一覧できるような資料も用意してはどうか。
- （支援機関向けに）支援策を適用できるかどうかの判断ができるようなチェックリストなども提示できないものか。

4. 中小 PMI ガイドライン（仮称）の検討方針について

- M&A の準備から PMI までにつながっている取組であることを意識して記載してはどうか。
- 比較的大規模な事業者の M&A は組織対組織で PMI が重要である一方、比較的小規模な事業者の M&A は個対個でエモーショナルな要因も大きいのではないか。
- 比較的小規模な事業者は PMI と言われてもピンと来ないだろうが、引継ぎの一種とさえ理解できるのではないか。それが個人間で終わることもあれば、対組織で行うこともある。

以上